

首里城復興基本計画

概要版



令和3年3月29日
沖縄県

策定の趣旨

「首里城復興基本計画」は、基本方針で示した主な施策について、具体的に取り組む際の方向性等を体系的に定め、首里城復興を計画的に推進することを目的としている。

また、県民はじめ多くの人びと、企業・団体等及び行政・大学・関係機関等が、復興基本計画を共有することで、20年、50年先などの未来を見据え、連携・協働して、首里城に象徴される沖縄の歴史・文化の価値を確実に次世代へ継承し、それぞれの時代にふさわしい新たな文化創出など沖縄発展の礎として首里城復興に一体的かつ継続的に取り組んでいく。

計画の位置づけ

本復興基本計画は、令和4年（2022年）度を始期とする新たな沖縄振興計画の実施計画において、首里城復元はもとより、首里城に象徴される歴史・文化の観点から沖縄振興を目指す施策のマスター プランとなるものである。

首里城復興が目指す将来像

首里城に象徴され、古より体験・継承している歴史・文化を基層として、ふるさとへの誇りや愛着を感じられる社会が形成されるとともに、その時代に生きる私たちがそれぞれの挑戦を通して多様で重層的な沖縄振興が果たされている。

そして、これらが積み重なって沖縄の新たな歴史・文化が創造され、これらが基層に加わることで、さらに発展していく社会を目指す。

首里城復興基本計画の施策体系



基本施策	施策の展開	施策の方向性	期間
基本施策 1 正殿等の早期復元と復元過程の公開	(1) 伝統技術を活用した施設整備	首里城の復元・修復を支える人づくり	中期
	(2) 木材、瓦等の調達に向けた取組	①県産木材の調達	短期
		②首里城赤瓦に関する調査研究	短期
	(3) 復元過程の公開による観光資源等としての活用	③県民をはじめ国内外から寄せられた思いを形にする取組	長期
		①正殿の復元過程を観る、学ぶ、楽しむことを実現する取組	中期
基本施策 2 火災の原因究明及び防火設備・施設管理体制の強化	(1) 再発防止に向けた防火設備等の強化	②首里城公園内の新型コロナウイルス感染症対策	短期
		①想定される様々な出火要因を踏まえた新たな防火対策等の実施	中期
	(2) 安全性の高い施設管理体制の構築	②首里城公園全体の防火対策の強化	長期
		①首里城火災に係る再発防止策の策定	短期
基本施策 3 首里城公園のさらなる魅力の向上	(1) 国営・県営区域の一体的利用	②国等と連携した施設管理体制の構築	中期
		①首里城公園全体の魅力向上	中期
		②中城御殿跡の整備と展示・収蔵等機能の拡充	中期
	(2) 多様で柔軟な施設の利活用	③県営公園区域内の文化遺産等の整備	長期
		首里城公園における多様な行催事等の推進	長期
基本施策 4 文化財等の保全、復元、収集	(1) 首里城跡の適正な保全と価値の周知	①正殿遺構の適切な保護及び公開	短期
		②周辺文化財の情報発信	中期
	(2) 文化財等の復元、修復及び収集	①被災した文化財等の修復、復元に対する支援	中期
		②琉球王国時代の文化財等の調査研究、資料収集	長期
基本施策 5 伝統技術の活用と継承	(1) 伝統的な建築技術の活用と継承	技術者の育成と活用	中期
		①模造復元を通したネットワークの構築	中期
	(2) 美術工芸における伝統技術の継承	②最新デジタル技術等を活用した技術伝承と文化の継承	長期
		③文化財等保存修復技術の習得に関する体制の整備	長期
		④工芸技術等の伝承者養成に向けた体制の整備	長期

基本施策	施策の展開	施策の方向性	期間
基本施策 6 「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの推進	(1) 歴史を体現できる風格ある都市空間の創出	①「新・首里杜構想」及び「首里杜地区整備基本計画」の策定	短期
		②推進体制の構築・充実・強化	中期
		③歴史や文化を感じる景観まちづくりの推進	長期
	(2) 首里城公園及び周辺地域の段階的整備	①中城御殿跡や円覚寺等の歴史文化遺産の整備	長期
		②御茶屋御殿等の地域に点在する文化資源の段階的整備に向けた連携	長期
	(3) 交通環境の整備	①目標水準の設定	短期
		②首里城公園の運営改善	中期
		③首里城公園周辺での取組	長期
		④安全で快適な歩行空間の整備	長期
基本施策 7 歴史の継承と資産としての活用	(1) 多様で魅力ある観光資源の活用	歴史や伝統産業等の観光資源化	中期
	(2) 平和を希求する「沖縄のこころ」の発信	歴史的価値を継承するための環境整備	中期
	(3) 次世代を担う子どもたちへの継承	歴史・文化を観て、学ぶことができる環境の整備	中期
基本施策 8 琉球文化のルネサンス	(1) 多様性・独自性を持つ琉球文化の再認識	伝統芸能や伝統工芸等に触れる機会の提供	短期
	(2) 琉球文化の復興と新たな文化の創出	①琉球文化の普遍的価値の具現化	長期
		②新たな文化創出機会の提供	中期
	(3) 国内外へ向けた琉球文化の発信	①琉球文化を体感する機会の提供	短期
		②最新デジタル技術等による発信	中期
	(4) 琉球文化を活用した産業振興	①文化資源を有効活用したビジネスモデルの創出や商品開発	中期
		②工芸産業拠点を活用した伝統工芸の魅力・価値の向上	中期
復興基本計画の着実な推進	(1) 関係機関との推進体制の構築	国、那霸市等関係機関との連携等	
	(2) 国内外の学術ネットワークとの連携	学際的なネットワーク化に向けた支援	
	(3) 県民等の継続的な参加による復興	①県民等の参加機会の確保	
		②県民等相互連携の仕組みづくり	
	(4) 効率的で効果的な復興の推進	①多様な復興財源の確保	
		②計画の進捗管理	

正殿等の早期復元と復元過程の公開

国等連携した伝統技術等の活用による正殿の早期復元とともに、歴史・文化・観光拠点としての復興の取組や、復興への継続的な関心につなげていく。

目指す姿

1. 首里城正殿等の復元に、県内に蓄積・承継されている技術が活用され、将来の修復に必要な技術者の育成にもつながっている。
2. 県内資源を活用した首里城復元が取り組まれることで首里城と県民社会の結びつきが強まり、首里城をより身近に感じることにつながっている。
3. 首里城の復元の段階的公開・関連イベントが実施され、歴史・文化を知る新たな魅力となっており、県民はじめ多くの観光客等が訪れる場になっている。

施策の方向性

(1) 伝統技術を活用した施設整備

首里城の復元・修復を支える人づくり



(左) 被災した奉神門屋根の復旧工事
写真：沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所

(右) 復元建物の漆塗装
写真：(一財) 沖縄美ら島財団

(2) 木材、瓦等の調達に向けた取組

- ①県産木材の調達
- ②首里城赤瓦に関する調査研究
- ③県民をはじめ国内外から寄せられた思いを形にする取組



国頭村有林内のオキナワウラジロガシ／寄附金活用のイメージ

(3) 復元過程の公開による観光資源等としての活用

- ①正殿の復元過程を観る、学ぶ、楽しむことを実現する取組
- ②首里城公園内の新型コロナウィルス感染症対策



火災残存物の展示（復興展示室）／世誇殿におけるデジタル技術を活用した展示／破損瓦を活用した漆喰シーサー体験

火災の原因究明及び防火設備・施設管理体制の強化

首里城正殿等を含む首里城公園内施設について、二度と火災による焼失を生じさせない。

目指す姿

首里城公園の特性や想定される様々な出火要因等を踏まえ、国及び那覇市消防局等と緊密に連携した首里城公園内における火災の早期発見と迅速な初期消火を可能とする体制・設備が再構築されている。

施策の方向性

(1) 再発防止に向けた防火設備等の強化

- ①想定される様々な出火要因を踏まえた新たな防火対策等の実施
- ②首里城公園全体の防火対策の強化

(2) 安全性の高い施設管理体制の構築

- ①首里城火災に係る再発防止策の策定
- ②国等と連携した施設管理体制の構築



首里城火災に係る
再発防止検討委員会



検討委員会による先進事例調査（姫路城）

個色感知器・スプリンクラーの設置状況／スプリンクラー配管・カメラ設置状況／地上防火水槽

首里城公園のさらなる魅力の向上

県民を含む多くの観光客等が歴史や文化を感じ・体感できる場となるよう首里城公園全体の魅力向上を図る。

目指す姿

1. 首里城公園内の歴史的空间の保存・整備や、文化財等の展示・収蔵機能、利用者の利便性が向上し、歴史や文化を体感できる場となっている。
2. 首里城に象徴される歴史・文化の発信や観光の拠点として多様な行催事が行われ、県民や観光客等にとって首里城や沖縄文化が身近な存在となっている。

施策の方向性

(1) 国営・県営区域の一体的利用

- ①首里城公園全体の魅力向上
- ②中城御殿跡の整備と展示・収蔵等機能の拡充
- ③県営公園区域内の文化遺産等の整備



写真：首里城公園（龍潭）



(2) 多様で柔軟な施設の利活用

首里城公園における多様な行催事等の推進



首里城を舞台とした利活用イメージ（中秋の宴）
写真：国営沖縄記念公園（首里城公園）中秋の宴



首里城でのMICE利用のイメージ
写真：（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

文化財等の保全、復元、収集

学術的な研究成果等を分かりやすく工夫して情報発信をし、その歴史的価値を周知する。焼失又は被災した貴重な文化財等の復元・修復を支援するとともに、国内外に所在する文化財等の調査・収集を行い、次世代へ継承できる環境を整備する。

目指す姿

1. 首里城跡や首里城周辺の文化財の歴史的価値が評価されるとともに、保全に必要な措置が適切に実施されている。
2. 火災で焼失・被災した文化財等美術工芸品の修復及び復元が計画的に取り組まれるとともに、県内を拠点として文化財等の保存・修復が推進されている。
3. 文化財等美術工芸品の研究体制が充実されるとともに、国内外に現存する美術工芸品等の展覧会等が沖縄や各地で実施され、必要な修復等も沖縄で実施されている。さらに、美術工芸品等の収集が積極的に取り組まれ、伝統的な技術又は技法が継承されている。

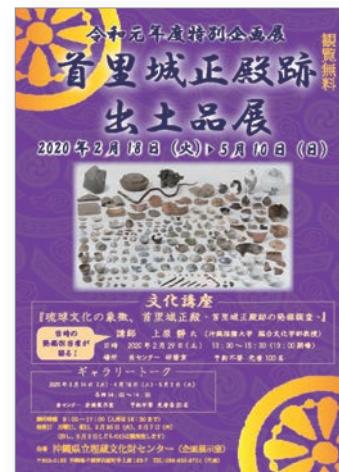
施策の方向性

(1) 首里城跡の適正な保全と価値の周知

- ①正殿遺構の適切な保護及び公開 ②周辺文化財の情報発信



正殿遺構の展示室（覆屋）



埋蔵文化財の展示会の実施



(2) 文化財等の復元、修復及び収集

- ①被災した文化財等の修復、復元に対する支援 ②琉球王国時代の文化財等の調査研究、資料収集



被災した文化財等の修復の様子
漆や加飾部分が傷つかないよう、漆器に貼りついた薄紙を剥がす作業
写真：(一財) 沖縄美ら島財団

被災した文化財等の修復の様子
煤を被ってしまったが、煤が固着化する前に緊急措置として煤を除去した状況
写真：(一財) 沖縄美ら島財団



緊急措置前



緊急措置後

伝統技術の活用と継承

建築や美術工芸に関する伝統技術を復元のみならず、修復にも活用していくことで、技術の継承及び人材を育成する。

目指す姿

- 首里城正殿等の華美なたたずまいが悠久に受け継がれるとともに、美術工芸における伝統技術の継承、琉球文化の価値が次世代に伝達されている。
- 模造復元製作における技術が蓄積・継承され、県内外にある琉球王国時代の文化財等が適切に保全され、琉球文化の価値が継承されている。

施策の方向性

(1) 伝統的な建築技術の活用と継承

技術者の育成と活用

工芸技術者育成の取組状況



漆芸技術



紅型技術



(2) 美術工芸における伝統技術の継承

- 模造復元を通したネットワークの構築
- 最新デジタル技術等を活用した技術伝承と文化の継承
- 文化財等保存修復技術の習得に関する体制の整備
- 工芸技術等の伝承者養成に向けた体制の整備



技術者による模造復元作業の様子
写真：久米島町教育委員会



映像と合わせた模造復元の展示（世誇殿）



無形文化財の技術継承（久米島紬）
写真：久米島町教育委員会



沖縄県立芸術大学の漆芸実習風景

「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの推進

首里杜地区において、古都首里のたたずまいを形成し、歴史や琉球文化を体現できる都市空間の創出を図る。

目指す姿

首里城公園内の歴史・文化資源の整備が進むとともに、周辺地域に点在する文化資源と相まって、歴史を体現できる風格ある都市空間が創出され、住民・来訪者が散策して王朝時代の歴史・文化を体現できる環境が整っている。

新・首里杜構想

理念

首里城正殿をはじめとする首里城公園全体及び城下町として発展した首里杜地区を改めて一体的なものとしてとらえ、歴史、文化的遺産の復元整備とともに歴史的風土環境の保全など、県民が首里杜地区を沖縄の歴史、文化を体現する空間として共有し、これを後世に残していく。

方針

1. 中核をなす首里城及び外苑の一群の文化資源を保存・整備するとともに、文化を育む拠点の充実を図る。
2. 古都首里の歴史的なたたずまいに配慮した景観形成とともに、住みやすく魅力的なまちづくりを進める。
3. 総合的な交通対策により、暮らしと観光が両立した歩行者中心のまちづくりを進める。
4. 地形、地質、水系、植生等を基盤に形成された歴史的風土の環境を保全する。
5. 行政機関及び地域住民、教育機関、関係団体等が連携して推進体制を構築し、整備基本計画の策定、実施に取り組む。

施策の方向性

(1) 歴史を体現できる風格ある都市空間の創出

- ①「新・首里杜構想」及び「首里杜地区整備基本計画」の策定
- ②推進体制の構築・充実・強化 ③歴史や文化を感じる景観まちづくりの推進

(2) 首里城公園及び周辺地域の段階的整備

- ①中城御殿跡や円覚寺等の歴史文化遺産の整備
- ②御茶屋御殿等の地域に点在する文化資源の段階的整備に向けた連携

(3) 交通環境の整備

- ①目標水準の設定 ②首里城公園の運営改善
- ③首里城公園周辺での取組 ④安全で快適な歩行空間の整備



県民参画による歴史まちづくりの推進



松崎馬場整備イメージ
図：NPO法人首里まちづくり研究会



首里城公園付近の交通渋滞の様子（一部画像加工）
写真：NPO法人首里まちづくり研究会

歴史の継承と資産としての活用

首里城及びその周辺地域を観光資源として活用していくなど、首里城に象徴される歴史・文化の継承に向けた取組を推進していく。

目指す姿

- 歴史・文化的遺産、伝統産業など、地域の潜在的な魅力が資産として認識され、各主体が強みを生かして相互に連携し、歴史・文化を体現できる取組が活発に実施されている。
- 首里城周辺の戦争遺跡が適切に保存され、第32軍司令部壕を活用した平和学習環境等が整備され、沖縄戦の実相が正しく伝わり、「沖縄」をより深く知ってもらえている。
- 首里城の復興を通して、沖縄の歴史・文化を感じることができる取組が活発に実施され、ふるさとへの誇りや愛着が育まれ、文化の継承につながっている。

施策の方向性

(1) 多様で魅力ある観光資源の活用

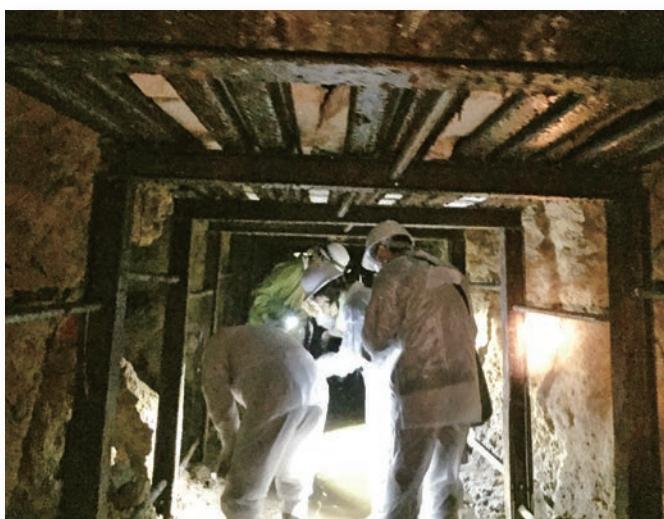
歴史や伝統産業等の観光資源化



国等と連携して設定した、見て学ぶ周遊モデルコース

(2) 平和を希求する「沖縄のこころ」の発信

歴史的価値を継承するための環境整備



第32軍司令部壕内の視察状況

(3) 次世代を担う子どもたちへの継承

歴史・文化を観て、学ぶことができる環境の整備



首里城を活用した教育活動



伝統工芸品に触れる機会の創出
(漆の器を使用した学校給食の提供)



学校教育での首里城復興活動のイメージ

琉球文化のルネサンス

首里城の焼失によって改めてその価値が再認識された沖縄独自の文化について、自信と誇りを持ち、その価値を将来に向けて高め、世界に発信していく。

目指す姿

1. 地域文化とその基層であるしまくとぅば等が普及・啓発され、県民や世界のウチナーンチュが琉球文化を身近に感じ、誇りを持ち、その継承に向け主体的な活動が行われている。
2. 首里城及びその周辺が県民等の感動体験の機会を創出する拠点となり、多くの県民等が首里城を感じている。
3. 伝統芸能や伝統工芸等の普遍的価値が再認識され、さらなる発展につながっている。
4. 沖縄の多様な文化が世界へ発信され、認知度が高まっている。
5. 伝統文化に携わる人々の連携や異分野の人々との交流を通して、新たな文化の創造、伝統技術を活かした商品開発等が行われ、伝統の技が現代のライフスタイルに広く活用されている。

施策の方向性

(1) 多様性・独自性を持つ琉球文化の再認識

伝統芸能や伝統工芸等に触れる機会の提供

(左) 琉球文化を体感できる機会の創出
(空手演武)

(右) 民俗踊りに首里から伝えられた組踊の要素が加わった多良間の八月踊
写真：多良間村教育委員会



(2) 琉球文化の復興と新たな文化の創出

- ①琉球文化の普遍的価値の具現化
- ②新たな文化創出機会の提供



芸能とバルーンアートの融合

(3) 国内外へ向けた琉球文化の発信

- ①琉球文化を体感する機会の提供
- ②最新デジタル技術等による発信



Google社と連携した情報発信 (Google Arts & Culture)

(4) 琉球文化を活用した産業振興

- ①文化資源を有効活用したビジネスモデルの創出や商品開発
- ②工芸産業拠点を活用した伝統工芸の魅力・価値の向上

文化資源を活用した商品開発の事例

写真：(左) 紅型工房うるばな。
(右) SAKURA YONAGUNI



復興基本計画の着実な推進

首里城復興は、沖縄県だけでなく、多様な主体が自主的に、又は連携して取り組んでいくことで、より高い成果を得ることができる。それぞれが継続して首里城復興に参加できる仕組みを基盤として、復興基本計画を着実に推進していく。

目指す姿

1. 国、県等の行政による首里城復興の取組だけでなく、県民、企業、地域団体など、様々な主体による自主的な取組とともに、相互に協力・連携した復興の取組が活発化し、着実に復興基本計画の目的達成に向けて進んでいる。
2. 首里城復興の取組が、新たな沖縄振興計画に反映され、国と連携して計画的・具体的な取組が進められている。
3. 琉球大学を中心とした国内外の学術ネットワーク及び県立芸術大学による首里城復興に関する研究、議論が活発化するとともに、その成果が地域文化の復興やまちづくり活動等と連携し、具体的な取組につながっている。
4. 木曳式等復元の各段階における重要行催事の機会を中心に、多くの人びとが関わる各種イベント等が充実、拡充、継続的に実施され、首里城正殿等建造物の復元はもとより、琉球の歴史・文化等に関する理解・関心が高まっている。

着実な推進に向けた取組

(1) 関係機関との推進体制の構築

国、那覇市等関係機関との連携等

(3) 県民等の継続的な参加による復興

- ①県民等の参加機会の確保
- ②県民等相互連携の仕組みづくり

(2) 国内外の学術ネットワークとの連携

学際的なネットワーク化に向けた支援

(4) 効率的で効果的な復興の推進

- ①多様な復興財源の確保
- ②計画の進捗管理

復興基本計画の期間 (令和2年度から令和13年度までの12年間)



県内・国内外のたくさんの皆様から復興を願う思いを頂いています

お問い合わせ

沖縄県知事公室特命推進課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 電話: 098-943-8199

首里城復興への取組や、「首里城復興基本計画」は、県の首里城復興サイトで確認できます。

沖縄県公式首里城復興サイト「首里城がつなぐ過去から未来へ」
<https://www.shurijo-fukkou.jp/>

特命推進課
公式 Twitter

沖縄県復興サイト

ご了承ください
この印刷物は
環境に配慮して
再生紙で
印刷されています
P-010369